

2023年度 事業実績

独立行政法人 国際協力機構
北海道センター(帯広)



【目次】

- ・ 事業実績概要 1ページ
- ・ 研修員受入事業 2～6ページ
- ・ 草の根技術協力事業、中小企業・SDGsビジネス支援事業、
世界の人びとのためのJICA基金活用事業 7ページ
- ・ 開発教育支援事業 8～10ページ
- ・ セミナー・イベント等 11～12ページ
- ・ ボランティア事業 13ページ

2023年度 JICA北海道(帯広) 事業実績概要

● 研修事業※

※草の根技術協力案件を除く。国別枠及び有償枠による課題別又は国別研修への参加者は「国別」として整理。
長期()は前年度からの継続人数で内数。

	課題別	国別	長期	日系	青年	合計
コース数	22	12	24	0	3	61

	課題別	国別	長期	日系	青年	合計
参加人数	196 (40)	95	40 (28)	0	30	361

● 草の根技術協力

	パートナー型	地域提案型	支援型	合計
プロジェクト数	3	4	3	10
専門家派遣人数	20	23	20	63
研修員受入人数	5	26	6	37

※地域提案型＝地域(経済)活性化特別枠を含む

● 開発教育支援事業

	出前講座	センター訪問	小・中高生国際協力 プログラム	開発教育 指導者研修	教師国内研修※	研修員 学校訪問
参加者数	777	2,278	16	19	9	1,223

● ボランティア事業

形態	派遣国	派遣人数
青年海外協力隊	9	9
シニア海外ボランティア	0	0
日系青年ボランティア	1	1
日系シニア海外ボランティア	0	0
合計	10	10

研修事業実績

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道では、国土交通省北海道開発局、北海道、札幌市等の地方自治体や大学等のノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。また、寒冷地に位置する北海道の特徴を生かした研修なども行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	地熱掘削運営管理	課題別	5	ジブチ(2)、エチオピア、ケニア、タンザニア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.11.29-23.12.15
2	灌漑施設の維持・運営管理	課題別	9	ベトナム、ネパール、エジプト、ガーナ、ウガンダ、ジンバブエ、モザンビーク、ルワンダ、アゼルバイジャン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.6.14-23.7.26

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷(悪影響)を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚職対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	国立公園(ラグーン)における生態系に基づく管理(アルバニア)	国別	10	アルバニア	内包化	23.5.23-23.6.3
2	持続的森林管理及び生物多様性保全(担当クラス)(インド)	国別	14	インド	アジア航測株式会社	23.8.16-23.9.7
3	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	10	フィリピン、東ティモール、ベトナム、ネパール、ソロモン、マラウイ、ウガンダ、カメルーン、コンゴ民主共和国、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ	アジア航測株式会社	23.9.13-23.11.22
4	湿地生態系における自然を活用した社会課題の解決(ネイチャーポジティブな社会の実現に向けて)	課題別	8	コスタリカ(2)、ドミニカ共和国、グアテマラ、ニカラグア(2)、パナマ、ペルー	釧路国際ウェットランドセンター	23.10.11-23.11.22
5	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別	7	ベトナム、パラオ、ボツワナ、ウガンダ、ガボン、コンゴ民主共和国、ジョージア	釧路国際ウェットランドセンター	23.6.28-23.8.3
6	気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態系保全」	課題別	6	フィジー、セントルシア、マラウイ、コソボ、モルドバ、バングラデシュ	アークコーポレーション株式会社	23.8.23-23.10.18
7	地域資源を活用した観光振興・観光地マネジメント	青年	12	タイ	ひがし北海道自然美への道DMO	23.10.4-23.10.21

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	母子栄養改善	課題別	11	インドネシア、ラオス、パキスタン、エクアドル、ガーナ、マラウイ、アンゴラ、マダガスカル、ルワンダ、シエラレオネ(2)	公益財団法人ジョイセフ	23.11.1-23.11.2(遠隔) 23.11.15-23.12.6(来日) 24.1.10-24.1.11(遠隔) 24.2.22・24.2.26(遠隔)

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	食品の品質・衛生管理強化を通じた地域産業開発(マレーシア)	国別	10	マレーシア	帯広商工会議所	24.1.9-24.1.12(遠隔) 24.1.15-24.1.26(来日)
2	日本の経験を通じたビジネス振興(カザフスタン)	国別	7	カザフスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.6.10-23.7.2

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術	課題別	7	パプアニューギニア、ジョージア、フィリピン、スリランカ、タンザニア、ザンビア	一般社団法人The Earth Café	23.5.17-23.7.25
2	畜産物(乳・肉・卵)の安全・衛生・品質管理技術強化	課題別	6	タイ、パプアニューギニア、キューバ、ボリビア、ナイジェリア、コンゴ	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	24.2.20-24.4.26
3	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)(A)	課題別	21	バングラディッシュ、パキスタン、フィリピン、スリランカ、ブータン、ネパール、	十勝インターナショナル協会	23.8.27-23.9.15
4	CIS諸国、モンゴル向けアグリビジネス経営管理	課題別	8	アルメニア、アゼルバイジャン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	24.1.17-24.2.1
5	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)(B)	課題別	10	モンゴル、カンボジア、インドネシア、タジキスタン、ベトナム	十勝インターナショナル協会	23.8.7-23.8.25 (遠隔)
6	カリブ9カ国／農業・農村開発(農業の6次産業化)	青年	10	アンティグア・バーブーダ、バルバドス、バリーズ、グレナダ、ガイアナ、セントクリストファー・ネービス、セントルシア(2)、セントビンセント(2)	十勝インターナショナル協会	23.5.23-23.6.9
7	農業・農村DX／スマートフードチェーン共創に向けた産官学人材育成(B)	課題別	12	アルゼンチン、ボリビア、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル(2)、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.6.13-23.6.15(遠隔) 23.7.3-23.8.2(来日)
8	スリランカ北部州酪農開発プロジェクト国別研修(スリランカ)	国別	11	スリランカ	内包化	23.8.17-23.8.31
9	コミュニティにおける農協開発(ジョージア)	国別	11	ジョージア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.8.27-23.9.9
10	SATREPS 高栄養価作物キヌアのレジリエンス強化生産技術の開発と普及(ボリビア)	国別	1	ボリビア	JIRCAS	23.9.5-23.10.12
11	アジア地域 フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興	課題別	10	マレーシア、カンボジア、ベトナム(2)、インド(2)、ネパール(2)、フィリピン(2)	十勝インターナショナル協会	23.10.31-23.12.1
12	ブータン国別バリューチェーン(行政官)(ブータン)	国別	9	ブータン	十勝インターナショナル協会	24.1.10-24.1.31
13	人獣共通感染症および食料安全保障を脅かす家畜感染症の対策に資する獣医サービスの強化(ウズベキスタン)	国別	9	ウズベキスタン	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	24.1.22-24.2.6
14	平和構築に資する包摂性を確保した農業農村開発事業強化プロジェクト(コロンビア)	国別	9	コロンビア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.9.25-23.10.12
15	人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化	課題別	10	ブータン、ボツワナ、コンゴ民、リベリア、ナイジェリア、パレスチナ、パラグアイ、タイ、ウガンダ、ザンビア	帯広畜産大学	23.11.6-23.12.4(遠隔) 24.1.31-24.4.26(来日)
16	人獣共通感染症対策(寄生虫を含む)研究者育成(エチオピア)	国別	1	エチオピア	帯広畜産大学	23.11.6-23.12.4(遠隔) 24.1.31-24.4.26(来日)

17	小規模農家の生計向上のための持続的な畜産バリューチェーンの構築	課題別	10	ウガンダ、南スーダン、ナミビア、北マケドニア共和国、モンゴル、キルギス、トルクメニスタン、ベリーズ、ネパール(2)	帯広畜産大学	23.5.30-23.6.7(遠隔) 23.6.29-23.8.3(来日)
18	馬鈴薯生産技術研修(ケニア)	国別	1	ケニア	帯広畜産大学	23.6.29-23.7.12
19	栄養改善に資する乳生産のための飼養管理技術(生乳の質と量の改善に向けて)	課題別	9	マダガスカル、ブータン、パキスタン、スリランカ(2)、フィジー(2)、ネパール(2)	十勝インターナショナル協会	23.9.20-23.11.22
20	アラブ圏市場志向型農業振興(行政官)	課題別	7	パレスチナ(5)、エジプト(2)	十勝インターナショナル協会	24.2.14-24.3.1(来日) 24.3.3-24.3.7(エジプト)
21	北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト(ナミビア)	国別	10	ナミビア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.10.12-23.11.1
22	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興(A)	課題別	10	ケニア、コートジボワール、スリランカ、トルコ、フィリピン、ベトナム、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マレーシア、キューバ(2)	インサイトマネジメント	23.5.8-23.6.8
23	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興(B)	課題別	9	アゼルバイジャン、カンボジア、コートジボワール、コソボ、ペルー、ミャンマー、フィリピン(2)、ベトナム	インサイトマネジメント	23.9.11-23.10.12
24	農業・農村開発	青年	8	ラオス	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23.11.23-23.12.7

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～	課題別	11	フィリピン、カンボジア、ラオス、東ティモール、バングラデシュ、パキスタン、パプアニューギニア、ボツワナ、レソト、ザンビア、アンゴラ	十勝インターナショナル協会	23,10,19-23,12,6

● 青年研修

開発途上国の青年が、それぞれの国で必要とされている分野の基礎的な研修を通じ、将来の国づくりを担う人材となってくれることを目的とする事業で、地方自治体、地域のNGO、その他国際協力関連団体との連携で実施されています。地域の市民が、国際協力に参加、相互理解を深める重要な機会にもなっています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	カリブ9カ国／農業・農村開発(農業の6次産業化)	青年	10	アンティグア・バーブーダ、バルバドス、ベリーズ、グレナダ、ガイアナ、セントクリストファー・ネービス、セントルシア(2)、セントビンセント(2)	十勝インターナショナル協会	23,5,23-23,6,9
2	タイ/地域資源を活用した観光振興・観光地マネジメント	青年	12	タイ	ひがし北海道自然美への道DMO	23,10,4-23,10,21
3	ラオス/農業・農村開発コース	青年	8	ラオス	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	23,11,23-23,12,7

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

※研修員の来日時期が個別で異なる長期研修については、受入期間の記載を省略。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
1	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究科・修士	長期	4	エチオピア、ケニア、ネパール、モンゴル	北見工業大学	
2	(連携方式)ABE第10バッチ	長期	1	コートジボワール	北見工業大学	
3	(連携方式)ABE2020・第7バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ガーナ、ケニア、モザンビーク	帯広畜産大学	20.10.1-23.9.30 (遠隔+来日)
3	(連携方式)SDGsグローバルリーダー・コース2020(アフリカ)・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	ジンバブエ、マラウイ	帯広畜産大学	20.10.1-24.3.31 (遠隔+来日)
4	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2021年度・第8バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科(修士課程)	長期	1	モザンビーク	帯広畜産大学	21.10.01-24.3.21 (遠隔+来日)
5	人材育成奨学計画・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	22.4.1-24.3.31
6	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2022年度・第9バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	3	ケニア、モザンビーク、ルワンダ	帯広畜産大学	22.10.1-25.9.30
7	(連携方式)SDGsグローバルリーダー(2021～2023年度)(アフリカ)・2022年度・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	ケニア、マラウイ	帯広畜産大学	22.10.1-26.3.31
8	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2023年度・第10バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	2	ガーナ、ナイジェリア	帯広畜産大学	
9	(連携方式)SDGsグローバルリーダー(2021～2023年度)(アフリカ)・2023年度・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	1	南スーダン	帯広畜産大学	23.10.1-25.9.30
10	(連携方式)SDGsグローバルリーダー(2021～2023年度)(アフリカ)・2022年度・北見工業大学工学研究科・博士	長期	1	ニジェール	北見工業大学	22.10.1-26.3.31
11	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究科・修士	長期	2	インドネシア、モンゴル	北見工業大学	22.4.1-24.3.31
12	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究科・博士	長期	1	エチオピア	北見工業大学	22.4.1-25.3.1
13	(連携方式)ミャンマー農業セクター中核人材育成(フェーズ2)2020・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	長期	2	ミャンマー	帯広畜産大学	21.10.1-23.3.31
14	(連携方式)食糧安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)2020・帯広畜産大学畜産学研究科・博士	長期	2	パラグアイ、ラオス	帯広畜産大学	20.10.01 - 24.09.30 (遠隔+来日)
15	(連携方式)食糧安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)2020・帯広畜産大学畜産学研究科・修士(2021春)	長期	1	インドネシア	帯広畜産大学	21.04.01 - 23.09.30 (遠隔+来日)

16	(連携方式)食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2021年度・帯広畜産大 学(博士課程)	長期	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21.10.01 - 24.09.30 (遠隔＋来日)
17	(連携方式)食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2021年度・帯広畜産大 学畜産学研究科(修士課程)	長期	2	パラグアイ、南アフリカ共和国	帯広畜産大学	21.10.01 - 24.03.31 (遠隔＋来日)
18	(連携方式)食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2022年度・帯広畜産大 学(博士課程)	長期	2	キューバ、ルワンダ	帯広畜産大学	22.09.09 - 26.03.31
19	(連携方式)食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2022年度・帯広畜産大 学(修士課程)	長期	2	ラオス、パラグアイ	帯広畜産大学	22.09.14 - 25.03.31
20	(連携方式)食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2023年度・帯広畜産大 学畜産学研究科・修士	長期	1	ナミビア	帯広畜産大学	23.09.19 - 26.03.31
21	(連携方式)食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2023年度・帯広畜産大 学畜産学研究科・博士	長期	3	インドネシア、東ティモール、ザンビア	帯広畜産大学	23.09.19 - 28.03.31

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO、大学、地方自治体等がこれまで培ってきた経験や技術を活かして企画した、開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ分野の草の根レベルの協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

● パートナー型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
1	ウガンダ国マダニ媒介感染症制御による畜産農家支援プログラム	ウガンダ	マケレレ大学獣医学部	国立大学法人 北海道 国立大学機構 帯広畜産大学	5	8
2	パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト	パラグアイ	パラグアイ生産者組合連盟 (FECOPROD)	国立大学法人 北海道 国立大学機構 帯広畜産大学	0	6
3	キルギス国キルギス国立農業大学における土壌・作物分析技術人材育成プロジェクト（草の根パートナー型）	キルギス	キルギス国立農業大学 (KNAU)	バイオマスリサーチ株式会社	0	6

● 地域提案型（地域（経済）活性化特別枠を含む）

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
1	Kedah Food Valley 推進による地域活性化プロジェクト（地域活性化特別枠）	マレーシア	Kedah州政府、ケダ開発公社（PKNK）	帯広商工会議所	16	11
2	キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト（地域活性化特別枠）	キルギス	キルギス国立農業大学 付属農業技術カレッジ	株式会社 CheerS	6	6
3	モンゴル国路床の凍上性に着目した首都ウランバートル市内における道路の質的向上に向けたプロジェクト（地域活性化特別枠）	モンゴル	ウランバートル市道路開発局（UBRDD）、モンゴル地理学・知生態学研究所（IGG）	北見国際技術協力推進会議	4	6
4	ベトナム国水産都市ダナンをけん引する人材育成プロジェクト（地域活性化特別枠）	ベトナム	ダナン市農業農村開発局	釧路市、北海道釧路総合振興局	0	0

● 支援型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
1	ジョージア国ディスヴェリ村女性酪農協同組合における酪農技術向上プロジェクト	ジョージア	ジョージア酪農協会、ディスヴェリ村女性酪農協同組合	一般社団法人 とかち地域活性化支援機構	0	5
2	ベトナム国ラムドン省における小規模農家による市場ニーズに対応した販路多角化プロジェクト（草の根協力支援型）	ベトナム	クウォックヴェイト経済技術専門学校	一般社団法人 北海道ホーブランドベトナム交流協議会	0	2
3	モンゴル国利用者目線バス運営ノウハウとAI・OT技術提供によるバス事業改善プロジェクト	モンゴル	ウランバートル市（公共交通局、IT局）	一般社団法人 交通環境まちづくりセンター	6	13

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、専門家は限定的な派遣となった。

中小企業・SDGsビジネス支援事業

開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援する事業です。

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	協力期間
1	実績なし				

世界の人びとのためのJICA基金活用事業

日本のNGOやNPO、任意団体が開発途上国の人びとの尊厳や生活を守るために行う国際協力活動を支援する事業です。

No	案件名	対象国	提案団体	協力期間
1	自主夜間中学がつなぐ！「日本語学習支援の輪」育み事業 ～道東における外国人材受入支援強化のための日本語学習支援ボランティア養成・スキルアップ事業～	日本	釧路自主夜間中学「くるかい」	2023. 8. 15～2024. 3. 31
2	散在する在留外国人と地域をつなぐ日本語支援事業	日本	一般社団法人 にほんごさぼーと北海道	2023. 10. 20～2024. 8. 31

開発教育支援事業

開発途上国の現状を知り、「環境」「食糧」「資源」など私たちの日常生活に身近なものごとを通じて途上国と日本とのつながりに気づき、途上国の抱える諸問題や地球規模の課題について考える機会を学生や生徒に提供する活動を支援するために、JICA北海道はJICA事業関係者の協力を得てさまざまな取り組みを行っています。

● 出前講座/センター訪問

JICA職員や青年海外協力隊OB/OG等が小中学校、高校、大学、その他の団体等を訪問し、国際協力の現場で学んだこと、開発途上国での生活を通じて学んだこと等を紹介しました。また、多くの学校・団体等にJICA北海道を訪問いただき（センター訪問）、国際理解教育のためのワークショップ等を行いました。

区分	事業	参加人数	学校及び団体名 *順不同
小学校	出前講座	182	旭川市立愛宕小学校、鹿追町立鹿追小学校、遠軽町立遠軽小学校、ネイパル足寄等
	センター訪問	510	帯広市立川西小学校、帯広市立明星小学校、東川町立東川小学校、音更町立下音更小学校、帯広町立帯広小学校、幕別町立札内北小学校、鹿追町立鹿追小学校、児童デイサービス大樹学園
中学校	出前講座	52	別海町立中春別中学校、猿払村立拓心中学校
	センター訪問	1488	帯広市全中学校（おびひろ市民学）、日高町立えりも中学校、新得町立新得中学校
高校	出前講座	379	池田高等学校、士幌高等学校、帯広三条高等学校、大樹高等学校、知らk場学園高等学校、北見柏陽高等学校、高文連ボランティア全道大会等
	センター訪問	87	白樺学園高等学校、大樹高等学校、鹿追高等学校、十勝教育局インターン
大学/短期大学	出前講座	479	帯広畜産大学、北海道教育大学釧路校 等
	センター訪問	52	韓国国民大学、帯広看護専門学校、帯広畜産大学
特殊学校	出前講座		
その他団体	出前講座	298	帯広市民大学、大谷短期大学オープンカレッジ、広尾町教育委員会、常呂オホーツク大学、新日本婦人の会 等
	センター訪問	141	士幌町ライフスクール、北海道開発局職員研修、池田町農協職員研修、更別小学校PTA研修、広西新和会、広和ことぶき会 等

● JICA研修員学校訪問

各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育を支援する事業の一環として、JICA北海道では、道内に在住する外国人が学校訪問を行い、地域の児童・生徒と交流するプログラムを行いました。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築き、道内に在住する外国人が、日本人とのコミュニケーションを図り、日本についての理解を深める機会としています。

No	訪問校	参加人数	JICA研修コース名
1	帯広市立啓北小学校	65名	戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興（
2	上士幌町認定こども園ほろん	70名	（青年）カリブ9か国 「農業・農村開発」農業の6次産
3	音更町立西中音更小学校	15名	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術
4	帯広市立明和小学校	44名	持続的農業生産のための土壌診断と土壌改良技術
5	音更町立下音更小学校	55名	（課題別）「自然環境行政官向けのエコツーリズム」
6	上士幌町立上士幌小学校	38名	（課題別） 灌漑施設の維持・運営管理
7	帯広市立南町中学校	214名	（課題別） 灌漑施設の維持・運営管理
8	上士幌町認定こども園ほろん	70名	（課題別） 気候変動に対する順応的流域管理「災害リスク削減と生態」
9	北海道池田高等学校	103名	ジョージア国別
10	帯広三条高等学校	24名	帯広畜産大学長期研修員
11	北海道帯広北高等学校	36名	（課題別）「戦略的マネジメント・マーケティングによる持続的地場産業振興（B）」
12	士幌町上居辺小学校	19名	キルギス事務所ナショナルスタッフ
13	陸別町立陸別小学校	60名	地域住民の参加による持続的な森林管理
14	大空学園義務教育学校	80名	帯広畜産大学長期研修員
15	帯広三条高等学校	24名	帯広畜産大学、北見工業大学長期研修員
16	音更町立鈴蘭小学校	82名	「アジア地域 フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興」
17	北海道興部高等学校	18名	北見工業大学長期研修員
18	北海道白糠高等学校	8名	地熱掘削管理
19	更別農業高校	30名	ラオス青年研修
20	帯広市立八千代中学校	15名	帯広畜産大学長期研修員
21	鹿追町立鹿追小学校	41名	帯広畜産大学長期研修員
22	幕別町立明倫小学校	9名	（エチオピア国別）「人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成」（課題別）人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化
23	音更町立木野東小学校	87名	（エチオピア国別）「人獣共通感染症対策（寄生虫病含む）研究者育成」（課題別）人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化
24	幕別町立札内北小学校	38名	（課題別） 「畜産物（乳・肉・卵）の安全・衛生・品質管理技術強化」

● 開発教育/国際理解教育指導者研修

教育現場での開発教育/国際理解教育の担い手である教員の方々を対象に、開発をめぐる様々な問題を理解し、学校現場での具体的な展開方法等を考えていただくことを目的とした「開発教育/国際理解教育指導者研修」をオンラインで実施しました。また、JICA海外協力隊OB/OG等を対象にした国際協力出前講座のスキルアップセミナーを開催しました。

項目	参加人数	実施日
国際理解ワークショップ	19	2023/7/27

● 教育庁・教育委員会との連携事業

JICA北海道と北海道教育庁及び札幌市教育委員会等との連携による教職員対象の『国際理解教育研修』を実施しました。

項目	参加人数	実施日
十勝教育研修センター連携講座「国際理解」	25	203/08/08
広尾町教育研究所研修	30	2023/12/12

● 小・中・高 国際協力体験プログラム

外国の生活や文化を知ること、国際理解を深めることや、国際協力の現場について知り、世界の現状や何ができるのか考えてもらうためのプログラムです。外国の方との交流、青年海外協力隊の体験談、参加型ワークショップなど、小・中・高校生向けに各プログラムを用意しています。

項目	参加人数	実施日
高校生国際協力体験プログラム	16	2024/1/11

● 教師海外研修

項目	参加人数	実施日
キルギス訪問	9	2023/12/22-12/31

● JICA北海道におけるインターン（職場体験学習）受入実績

※センター訪問に含む

人数	大学/大学院（学部/研究室）	実施期間	人数	中学校/高校	実施期間
1名	文化学園大学	2023/8/28-9/8	2名	十勝教育局選抜高校生	2023/8/1
1名	東邦大学	2023/8/28-9/8	2名	鹿追高校	2023/10/12-10/13
			4名	帯広市立南町中学校	2023/10/26-10/27
			1名	大樹高校	2023/11/9-11/10
			1名	帯広市立川西中学校	2023/11/15-11/16
			1名	鹿追高校	2024/1/10-1/11

● エッセイコンテスト

中学生と高校生が国際協力について考えるきっかけづくりとして、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集し、全国規模でコンテストを実施しました。2023年度は北海道から次の方々・学校が入賞しました。

	賞		タイトル	学校名
中学校の部	個人賞	JICA北海道（帯広）所長賞	雑草が教えてくれた支え合うことの大切さ	帯広市立八千代中学校
	特別学校賞			
	学校賞			
高等学校の部	個人賞	JICA北海道（帯広）所長賞	発展途上国の医療環境を変えるために	北海道北見北斗高等学校
	特別学校賞			
	学校賞		北海道北見北斗高等学校	

セミナー・イベント等

道民の方々に開発途上国の問題や日本との関係等について理解を深めてもらえるよう、各種セミナー、イベント等を実施しました。また、地方自治体や大学、道内NGOの方々の国際協力に対するお手伝いを様々な形で実施しました。

● 市民向けイベント（主催・共催）

開発途上国について道民の方々に関心を持っていただくことを目的としたイベントを開催しました。

イベント名	実施日	参加人数	主催 共催
JICA海外協力隊2023年春募集説明会（釧路）	2023. 6. 3	25名	主催
JICA海外協力隊2023年春募集説明会（帯広）	2023. 6. 4	16名	主催
JICA海外協力隊2023年春募集説明会（北見）	2023. 6. 10	35名	主催
オホーツク国際フェスタ	2023. 6. 11	253名	主催
JICAfe in くしろ 2023	2023. 6. 18	85名	主催
北海道教育大学釧路校 海外協力隊セミナー	2023. 7. 4～7. 5	176名	主催
世界のともだち2023	2023. 7. 9	1, 200名	共催
折り紙講座	2023. 7. 21	11名	主催
JICA研修員と考える国際理解ワークショップ	2023. 7. 27	10名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第1弾弟子屈町	2023. 7. 28	11名	主催
Ola! Brazil	2023. 7. 30	90名	共催
グローバルプログラム中間報告会	2023. 8. 20	5名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第2弾釧路市	2023. 8. 25	19名	主催
しんとく秋まつりJICAブース	2023. 9. 7-8	180名	共催
大樹町柏林公園まつりJICAブース	2023. 9. 17	100名	共催
JICAfeリレー型オンラインサロン第3弾鶴居村	2023. 9. 29	15名	主催
東京農業大学オホーツクキャンパス収穫祭 JICA海外協力隊展示、個別相談	2023. 10. 8-9	200名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第4弾中標津町	2023. 10. 13	10名	主催
おびひろ菊まつりJICAブース	2023. 11. 1-11. 5	1, 342名	共催
JICAfe2023 in なかしべつ	2023. 11. 3	335名	主催
映画「戦火のランナー」無料上映会	2023. 11. 5	11名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第5弾別海町	2023. 11. 17	24名	主催
オホーツク国際フェスタ	2023. 11. 18	250名	主催
ネパールTHANKS DAY2023でのJICA海外協力隊パネル展示	2023. 12. 3	100名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第6弾別海町	2023. 12. 8	12名	主催
国際フェスタ in とかち 2024	2024. 2. 10	550名	共催
ダイバーシティ推進講演会	2024. 3. 24	40名	共催

● JICA/大学連携講座

JICAでは連携協定を結んでいる帯広畜産大学で国際協力に関する連携講座を実施しました。

大学名	講座名	実施日	受講人数
<帯広>			
帯広畜産大学	国際農畜産開発論	2023. 4. 6～2023. 7. 27	70名
帯広畜産大学	キャリア教育II	2024. 1. 30	21名

ボランティア事業

● 派遣実績（道東エリア）

○ 2023年度 新規派遣

形態	派遣国数	人数
青年海外協力隊（海外協力隊含む）	9	9
シニア海外協力隊	0	0
日系社会青年海外協力隊 （日系社会海外協力隊含む）	1	1
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	10	10

※表敬訪問先が北海道の協力隊隊員
（他都府県出身者含む）

● 応募状況（北海道全域）

	春募集		秋募集	
	一般案件	シニア案件	一般案件	シニア案件
応募者数	51	5	39	1
合格者数	23	2	26	0

● グローカルプログラムの実施状況

受入団体	人数	期間
上士幌町・株式会社マイミチ	4	7月～9月
釧路市	1	1月～3月